



健康が生活習慣
くまもと県民健康キックアップ
ASO坊健太くん

熊本スマートライフ企業

Kumamoto Smartlife Corporate

健康経営を実践している企業を紹介します! **Vol.2**

無料の講師派遣やセミナー、アプリを活用
女性もシニアも活躍できる職場を目指す

日豊食品工業株式会社

【熊本市】



代表取締役社長
小野 雅充氏

株式会社ニッスイのグループ会社として1961年に設立した日豊食品工業。卵製品などの冷凍食品や袋入りかき氷の製造のほか、低温倉庫事業を行っています。健康で長く働ける会社を目指して2017年から健康経営をスタート。全従業員の約6割を50歳以上が占めることから年齢に関わらず取り組みやすい工夫を重ねてきました。

たとえば「健康増進チャレンジキャンペーン」では、ポイント獲得を目指してゲーム感覚で楽しく健康を目指しています。「減酒」や「就寝3時間前までの食事」など11項目のチャレンジ項目の中から取り組みたいものを選択し、ポイント上位者には社長から表彰とインセンティブを付与。禁煙や体重減量成功者が毎年出ており、2024年度の参加率は85%となっております。

また「感謝グッジョブカードキャンペーン」は、社員同士のコミュニケーションツールとして定着。約2カ月の期間中、思いを伝えたい相手に向けた感謝の言葉をカードに書き込み、食堂などに設置された箱へ投函。匿名制や二次元コードで投稿することもでき、今年からはペンネーム制も導入。メッセージは掲示板で公開され、「言葉で直接伝えるのは恥ずかしい」という従業員からも好評です。お互いを褒め合うことで関係が深まり、自己肯定感が高まる一助となっています。ほかにもくまもとスマートライフアプリを活用した「社内ウォーキングイベント」では、社内で順位を競う個人戦に加えて会社全体で年間5千万歩を目指しています。

「健康経営」で従業員の健康と会社の活力を高めませんか?



詳しくはこちら

健康経営とは? 従業員などの健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践することです。経営理念に基づき、従業員の健康保持・増進に取り組むことで、組織の活性化や生産性の向上、企業価値の向上等の効果が期待されます。これまで、従業員の健康管理は自己責任、又は企業のコストと考えられてきましたが、人手不足問題などを背景に戦略的な投資として「健康経営」が注目されています。

2022年4月からは常勤の保健師を採用し、さらなる健康経営の強化に加えて従業員たちの悩みや困りごとをケア。本人の健康相談はもちろん、家族の病気や介護のことも相談できる医療職がいることで、心身の安定に繋がっています。

工場で働く女性従業員が約7割を占めることから、今後は妊娠、出産、更年期など女性特有の健康課題に対する支援の充実を目指しています。その一環として今年度は管理職向けに「女性の健康支援セミナー」を開催。協会けんぽから保健師を無料で派遣してもらい、男性管理職や労務担当社員へ向けて女性のライフステージにおける体調の変化を説明してもらうことで、理解を深める機会となりました。このような取り組みの数々によって5年連続で健康経営優良法人に認定。健康経営優良法人2024では上位500社が認定される「ブライツ500」に認定されました。同社では今年度から雇用延長に伴い定年が60歳から65歳へと引き上げられ、健康経営により力を入れていく予定です。

健康経営を円滑に実施・継続する秘訣は「経営トップの理解」と「担当者一人で抱え込むのではなく、周りの協力を得ながら行うこと」。これから健康経営に取り組む企業は協会けんぽが作成する事業所カルテ(事業所の健康結果等まとめ)などで職場の健康課題を把握し、気になる項目に取り組むことから始めてはどうでしょうか。



女性の健康支援セミナーの様子

熊本県 健康づくり推進課

くまもとスマートライフ

検索